

やって来ました「落ち葉の季節」真っ赤な落ち葉、黄色い落葉、茶色の落ち葉。形も大きさもいろいろな落ち葉。ハラハラと風に舞って降り積もり、見慣れた舗装道路も、ちょっとロマンチックに見えませんか？そんな落ち葉を集めて落ち葉焚き、みんなで焼き芋を食べました。そんなことが出来たのが良かったのか悪かったのか、今、町の中の落ち葉は集めてゴミと一緒に処分されます。今川公園では、貴重な資源として落ち葉を活用しています。前号でも紹介したとおり腐葉土作りや、樹林地の林床に敷き詰めて表土の流失を抑え、保温をし雨水を貯えます。ここに「どんぐり」が落ちるとやがて芽を出し、いつか古い木と入れ替わって林を作ります。また、落ち葉の降り積もった林床は「食物連鎖」の第一歩、基礎部分を構成しています。



食物連鎖は、土中のバクテリアやいろいろな虫、そして鳥や動物たちが生息する豊かな自然環境を作り出し私たちに素敵な公園を提供してくれています。



地球上でゴミを発生させる動物は人間だけです。人間が生活するうえで不要になったものがゴミです。自然界から発生する落ち葉、枯れ枝、虫や動物の死骸などはすべて食物連鎖の一部で最後は土に戻ります。

